



クラウドアプリケーションやリッチメディアの 利用環境に適した新技術に対応

～ネットワークトラフィック解析ツール

「ManageEngine NetFlow Analyzer 9.5」をリリース～

- ZOH Corporationが開発／製造したネットワーク管理関連ツール、企業向けIT運用管理ツール、企業向けクラウドサービスの日本市場への投入とサポート、コンサルティングなどの事業を展開しているゾーホージャパン（本社：横浜市）は、ネットワークトラフィック解析ツール「ManageEngine NetFlow Analyzer（マネージエンジン ネットフローアナライザ、以下、NetFlow Analyzer）」の「Professional Edition」および「Professional Plus Edition」をエンハンスし、「リリース9.5」として出荷を開始した。

ゾーホージャパンから出荷が開始されたリリース9.5は、ユーザビリティを向上し、クラウドアプリケーションと動画等のリッチメディアの利用環境に対応する新機能が追加されている。ユーザーインタフェースを一新し、シンプルなタブ構成で操作性を向上し、新たな受信対象フローとしてCitrix AppFlowをサポートしている。これにより、組織のクラウドアプリケーション利用を最適化するCitrix NetScalerを導入しているネットワークのトラフィック状況の詳細を可視化することができる。さらに、音声／動画通信の技術であるCisco Mediatraceを受信対象としてサポートしており、昨今利用が増大している音声や動画などのリッチメディア環境を最適化するCisco Medianetを導入している組織ネットワークのトラフィック状況の詳細を把握することができる。なお本体価格は、旧リリースの9.0から据え置きである。

主な新機能と改良点

クラウドアプリケーションの利用環境の最適化に役立つCitrix AppFlowをサポート：受信対象フローとしてCitrix AppFlowをサポートしている。AppFlowは、アプリケーションとトランザクションのフロー情報をエクスポートするプロトコルのひとつで、IETF（Internet Engineering Task Force）標準のIPFIXを拡張した最新技術である。組織でのクラウドアプリケーション利用を最適化するCitrix NetScalerの全モデルで採用されている（図1参照）。

ユーザーインタフェースを一新し、タブ構成でさらに使いやすく：ユーザーインタフェースを一新し、画面上部に機能別のタブを配置した、シンプルな画面構成で、迷うことなく操作を行うことができる。装置やフローの種類別にグリッド単位で監視データを表示することで、画面のス

クロールやクリック回数を減らして、ユーザビリティを向上している。画面右上に設置したグローバル検索機能では、IPアドレス／ポート／期間などを条件に監視データを抽出することができる（図2参照）。

リッチメディアの利用環境の最適化に役立つCisco Mediatraceをサポート：音声や動画などのリッチメディアの利用環境を最適化するネットワーク管理ソリューションCisco Medianetのうち、音声／動画通信の技術であるCisco Mediatraceを受信対象としてサポートしている。ネットワーク上の問題に影響を受けやすいリッチメディア・トラフィックについて、容量、往復遅延時間、パケット損失およびジッタの監視データを取得し、専用タブでレポートとして表示する。このレポートから、障害の事前検知や迅速な問題への対応が容易になる。

Cisco IP-SLAに基づくWAN RTT監視機能を強化：Cisco IP-SLAに基づくWAN RTT (Round Trip Time)

監視機能をオプションとして備えている。WANのデータ往復遅延時間を計測してそのパフォーマンスを監視することで、WANのサービス品質（QoS）の管理に役立つ。新たにIPグループ監視機能を追加し、指定した範囲のIPアドレス間における往復時間とフロー数を一元的に監視することができる。

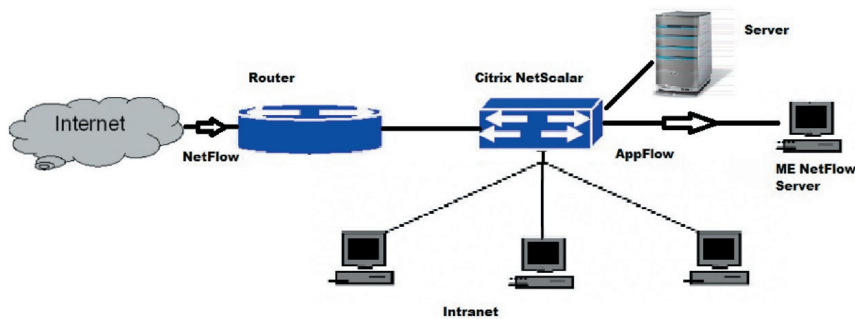


図1 NetFlow Analyzer AppFlow分析イメージ

製品概要と機能概要

NetFlow Analyzerは、Cisco NetFlowやsFlow、IPFIX（Internet Protocol Flow Information Export）、Citrix AppFlowなどのフロー技術を利用してネットワーク帯域の利用状況の把握を支援するWebベースのトラフィック解析ツールである。様々なネットワーク機器のインターフェースを通過するトラフィックのフローデータを取得・解析して、どのアプリケーションが帯域を使用しているか、誰がいつ使用しているかなどの情報をわかりやすいグラフやレポートで提供する。これにより、SNMPに基づく監視だけでは捉えきれないネットワークトラフィックの詳細な状況を把握することができ、ネットワークの混雑やダウン等の障害の事前検知やその原因究明、さらに、キャパシティプランニングやセキュリティ強化等の障害予防の適切な対策が容易になる。

【機能概要】

- ・ NetFlowやsFlow等のフローデータを利用した帯域利用状況の分析

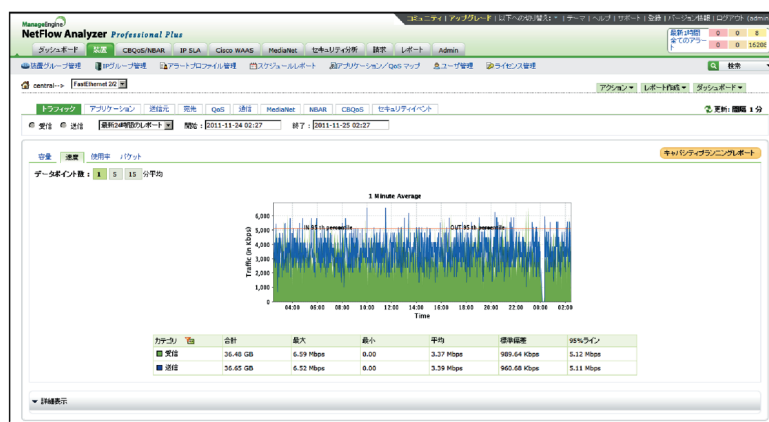


図2 NetFlow Analyzerの新しいユーザーインターフェース（タブ構成）

- ・ IPアドレス範囲やネットワークアドレス別のグルーピングによる帯域監視
- ・ しきい値に基づくアラートの生成
- ・ Cisco IP-SLAに基づくWAN RTT監視（オプション）
- ・ Cisco IP-SLAに基づくVoIP監視（オプション）
- ・ アドバンスドセキュリティ分析（オプション）
- ・ Cisco CBQoS（Class-Based Quality of Service）レポートによる機器のQoSポリシー評価（Professional Plus Editionのみ）
- ・ NBAR（Network Based Application Recognition）レポートによるアプリケーション毎のサービス品質管理（同上）
- ・ 利用帯域ベースの課金用データの生成（同上）
- ・ キャパシティプランニングレポートの生成（同上）

ライセンスと価格

10～600の論理インターフェースパックライセンスを用意。論理インターフェース数とは、フローエクスポートを有効化した物理ポートとVLANの合計数。ルータ数は無制限。

● お問い合わせ先 ●

ゾーホージャパン(株)
 ManageEngine 事業 営業担当
 TEL : 045-444-3881
 E-mail : jp-mesales@zohocorp.com
 URL : http://www.zoho.co.jp/